



## 主な構成文化財



### 葡萄畑

江戸時代に考案された棚栽培を改良し、平地から急斜面まで見渡す限り葡萄畑が広がっています。明治時代までは甲府盆地東部の勝沼地区に限られていましたが、現在では峡東地域の各地に広がっています。

山梨市、笛吹市、甲州市



### かつぬまとみちよう 勝沼富町のブドウ(甲州種の本種)

山梨県固有のブドウ品種である甲州種は山梨を代表する甲州ワインの原料となる品種です。勝沼富町にある葡萄の樹は樹齢130年を数え、「甲龍」と名づけられた名木で、この甲龍とそのクローンに実った葡萄からワインを醸造している会社もあります。

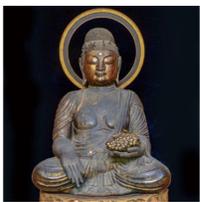
甲州市  
甲州市指定天然記念物



### 大善寺

本堂は鎌倉時代に竣工した山梨県内最古の寺院建築で、木造薬師如来像が安置されています。行基が葡萄栽培を伝えたことから、「ぶどう寺」とも呼ばれ、今も寺域で葡萄を栽培しています。

甲州市  
国宝(建造物)



### 木造薬師如来像

奈良時代の名僧行基の夢の中に葡萄を手にした薬師如来が現れ、その姿を像に刻んで大善寺に祀り、行基がこの地域に葡萄栽培を伝えたと言われている。薬師如来は「ぶどう薬師」と呼ばれて親しまれていますが、5年に1度のご開帳の際にはその姿を拝むことができます。

甲州市  
国指定重要文化財(彫刻)



### せいはいくじ 清白寺

かつては周囲を水田や桑畑に囲まれていましたが、葡萄畑に転換したことにより葡萄畑の中に仏殿が浮かぶような風景となっています。

山梨市  
国宝(建造物)



### いちのみやあさましんじや 一宮浅間神社

御祭神の木花開耶姫は酒造の守護神でもあるため、農作業の始まる毎年3月に、県内ワイナリーの約半分に当たる約40社がワインを一升瓶などで奉納しています。

笛吹市



### 養蚕農家の特徴を持つ和風建築ワイナリー

近代の養蚕農家の特徴を持つ民家で、現在は和風建築ワイナリーとして使われています。

- <原茂ワイン株式会社>  
越屋根をもつ建物で、軒先まで葡萄棚が張り巡らされています。
- <勝沼醸造株式会社>  
2階に棚干を設けた建物で、南側に葡萄畑が広がっています。
- <丸藤葡萄酒工業>  
越屋根をもつ建物で、建物の南側には葡萄畑が広がっています。

甲州市



### 歴史的ワイナリー

日本のワイン産業の黎明期からワイン醸造を行っている創業100年以上の歴史をもつワイナリーや東京オリンピックを契機とするワインブーム以前に創業した50年以上の歴史をもつワイナリー。最新の設備などでワインづくりを行っています。

山梨市、笛吹市、甲州市



### 甲州ワイン

日本固有種である「甲州種」の葡萄を原料としたワイン。昭和40年代から「甲州」と品種名を記したワインが作られるようになりました。平成22年OIV(ワインの国際的審査機関)が認証する葡萄品種として「甲州(Koshu)」を登録し、甲州種はワイン醸造用の品種として世界的に認められるようになりました。

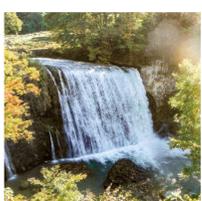
山梨市、笛吹市、甲州市



### 甲州式棚栽培

竹を使った棚栽培により、江戸時代中期には甲州は日本一の葡萄生産量を誇るようになり、後に甲州式と呼ばれました。また明治31年に丈夫な針金を導入することにより、平地から急斜面まで葡萄を栽培できるようになりました。

山梨市、笛吹市、甲州市



### かつぬまえんてい 勝沼堰堤

日川下流の土地を水害から守るために大正4~6年に建設された砂防堰堤。岩盤を巧みに利用し、自然の滝のような景観を作り出し、祇園の滝と呼ばれる地域の名所となっています。日本で初めてコンクリートを使用した砂防堰堤としても知られる日川堰堤群の代表的な存在。

甲州市  
国登録有形文化財(建造物)



### 日川治水施設

日川の流路を固定するために明治44年から昭和6年にかけて建設された土砂流出防止の74基の治水施設。現在、下部は土砂に埋まり、上部のみが葡萄畑の中に石畳のように見えています。周囲の土地は水はけのよい土地に変わり、葡萄畑として利用されています。

甲州市

## 3市の紹介

### 山梨市

源流の恵みが  
美しい自然景観を育むまち

面積の8割を森林が占め、平成の名水百選に選ばれた笛吹川(西沢渓谷)とその支流がもたらす水の恵みを活かし、桃・ぶどうの栽培が盛んに行われ、なだらかな斜面や平地には美しい果樹景観が織りなされています。広瀬ダムの水はパイプラインを通じて峡東地域に広く提供され、果樹生産の発展に大きく貢献しました。



### 笛吹市

桃源郷・温泉郷としても知られる  
恵み豊かなまち

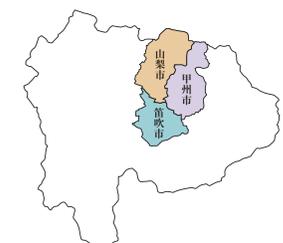
縄文時代には華麗な装飾が施された縄文土器を持つ文化が開き、古代には甲斐国分寺が造られるなど古くから恵み豊かな土地で、山あいの芦川地区には兜造りの古民家が多数残り、日本の原風景とも言える農村景観を形成しています。葡萄栽培とともに桃栽培も盛んで、春には一面に桃の花が咲き、美しい桃源郷の景観が広がります。昭和36年、葡萄畑の中から温泉が湧出し、石和温泉郷として発展しました。



### 甲州市

武田家ゆかりの深い歴史と  
ワイナリーのまち

甲府盆地の東部。北東側には秩父多摩甲斐国立公園の大菩薩連嶺をはじめとする秩父山系があります。武田信玄公の菩提寺である恵林寺、勝頼公の菩提寺である景徳院など、武田家ゆかりの神社仏閣が多数存在しているほか、国内のワインの醸造発祥にまつわる産業遺産など近代化産業遺産も数多く点在しています。



山梨県  
山梨市、笛吹市、甲州市



JAPAN HERITAGE

日本遺産